



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP primary-care.or.jp/primarycare-kinki/

ニュースレター No.24 (2018.12)

「近畿ブロックの歩み」 外山 学 前・近畿ブロック長

規約と予算を有する、組織としての近畿ブロック支部は、3学会合併後の新しい支部整備の方針に基づき、2011年11月、第25回近畿地方会(吹田市)での代議員会で正式に発足しました。地方会の回数は、旧プライマリ・ケア学会時代の1987年からの通算となりましたが、それまでは、会議体としての代議員(旧評議員)会だけで、支部として組織化はされていませんでした。発足時の役員は、学会役員及び経験者に加え、支部・研究会、地域、若手の代表から構成され、初代支部長には、小泉俊三先生が就かれました。

その後、学会からの支部支援にも参画しつつ、事務局機能の強化、幹事間の意思疎通、会議の整理、地域支部・グループ活動に対する補助、ニュースレターの発行などに取り組みました。府県支部の整備は、2016年12月の兵庫県支部の結成をもって、完了しました。以前から活動実績がある「プライマリ・ケアを語ろう・おおさか」「万葉衆」は、公認勉強会との位置づけになっています。

これらの流れの中、地方会の開催形式も、支部主体に向け徐々に再構築が行われ、ポートフォリオ作成支援を軸に、若手の活動も盛んになってきました。ひとつの時代からの移行期が終わり、新しい時代に入っていることを実感します。

支部活動には地域と密着した魅力があり、その活性化は、地域の多職種や住民に支持される総合診療専門医像の確立にも、寄与できると考えています。新しい力に期待いたします。



近畿ブロック代議員会 2018.7.22
CIVI 研修センター 新大阪東

「近畿ブロックの今後」 雨森 正記 新・近畿ブロック長

2018年7月より近畿ブロック長を拝命致しました。よろしくお願ひ致します。近畿ブロックでは、3大行事である専攻医オリエンテーション、近畿地方会、ポートフォリオ発表会、それらに加えて各府県への支援、学習会への補助金の支給などの業務を行って参りました。今後はそれらの行事をつつがなく遂行することがまずは再重要と考えております。

特に現在の近畿ブロックで懸案と考えておりますのは以下の2点です。

一点目は、近畿ブロックとして今年から始まりました総合診療専門研修プログラムの専攻医、指導医の支援をどのように行うかということです。このことに関しては、今回各府県からの代表の方にお願ひして専門研修支援部会を結成致しました。この部会を中心として各行事を検討してもらうこととなります。

二点目は近畿地方会の継続に関することです。全国を見回しても近畿地方会ほどの大規模な地方会はありません。企業協賛に対する昨今の情勢も鑑みますと会員数の少ない県での開催は人的にも経済的にも厳しい

ものがあります。今後どのような形での継続を考えていくべきかブロックの皆様とともに考えていけたらと思っております。皆様のご意見を伺いながらよりよい方向に進めさせていただければと考えております。なにとぞよろしくお願い致します。

【報告】近畿ブロック代議員会 (2018年7月22日)

2018年7月22日、CIVI研修センター「新大阪東」にて代議員会が開催され、57名の代議員が集いました。平成29年度事業報告及び決算、監査、平成30年度事業計画及び予算について協議、承認されました。また地方会について、2018年度(第33回)の準備状況が確認され、2019年度(第33回)を担当する兵庫県支部の方向性が報告されました。専攻医研修に関しては、専攻医オリエンテーション、ポートフォリオ道場、ポートフォリオ発表会を推進していく「専門研修支援部会」の発足に向けて議論が行われました。



【報告】近畿地方会 (2018年12月2日)

2018年12月2日、第32回近畿地方会が「皆で織りなすプライマリ・ケア: Learn Serve Lead」のテーマのもと、歴史館・稲盛記念館(京都府立大学)にて開催され、多職種含め多数が参加しました。

【勉強会報告】第4回 兵庫家庭医カンファレンス (2018年10月14日)

一瀬 直日 (赤穂市民病院/兵庫県赤穂市)



明石医療センター

今年から薬剤師の発表と参加が加わり、兵庫県下の専攻医と指導医とともに、参加者48名(医師30名うち専攻医18名、薬剤師18名)で熱心なディスカッションが行われました。第1部では指導医・薬剤師からのショーケース・ポートフォリオ発表を行いました。住谷庸子先生(すみれ薬局)からは在宅困難事例を多職種連携で解決した事例を、一瀬からは医薬連携で改善した認知症独居高齢者の糖尿病コントロール例を紹介しました。第2部では、医薬連携をすすめるための6つのテーマをワールドカフェ形式で熱く意見交換しました。第3部はショーケース・ポートフォリオ発表を11名の

専攻医が行い、全参加者からルーブリックに基づいた採点とコメントを書き発表者に渡しました。来年からは兵庫プライマリ・ケアカンファレンスと名前を変更し多職種そろって意見を出し合う場の中で、専攻医や薬剤師の成長を支えられる場とする計画です。**2019年12月1日(日) 姫路で開催される近畿地方会**の中で行う予定です。

[勉強会報告] 第1回 関西の外国人医療を考える会 (2018年7月29日)

谷口 恭 (太融寺町谷口医院/大阪市)



大阪市立大学医学部 4階 小講義室2

関西には外国人に対する医療の問題が少なくない。実際、きちんとした治療が受けられなかったという医療機関や医療従事者に対する不満の声が外国人の間から上がっている。一方、医療者側からみたときには、マイナー言葉を含む言葉の問題のみならず、文化や慣習の違いからくる軋轢、支払い能力の問題、難民や不法就労の問題など医療サービスを適切に供給する上で様々な障壁がある。そして、その「障壁」は医療者でも立場によって感じるものが異なる。今回は「第1回」として、各立場

にある者がどのようなことを問題と認識しているのかを披露しあい、それらを共有することを主目的とした。また演者のみならず会場から多くの意見を取り入れることを試みた。診療所の立場からは谷口(太融寺町谷口医院院長)が現状を紹介した。他院へ紹介するときに問題が生じることが多く「英語対応可」としている医療機関でもそれは「医師が英語を話す」というだけであり受付で断られることが少なくない。白野医師(大阪市総合医療センター)は病院の立場から、保険に加入していないケースや食文化の違いから苦勞をした経験を紹介した。堀看護師(国立国際医療研究センター)は東京の外国人医療の実情を紹介した。100以上の言語に対応しなければならず関西とは異なる問題があることが判った。青木氏(NPO法人CHARM)はNPO法人の立場から難民やアジア諸国からの就労生の話をした。澤田氏(メディフォン株式会社)は電話通訳の実情について他地域の成功例などを話した。木戸医師(愛港園診療所)は数十年間外国人医療に関わってきた経験から総論的な話をした。尚、本会の第2回を2019年1月27日(日)に開催する予定で、テーマは「多言語対応について」である。

[勉強会報告] 関西家庭医療フォーラム2018 (2018年7月29日)

竹中 裕昭 (竹中医院/大阪市)



家庭医療は診療背景(Context)により多様性を持つものですが、変わらない本質があります。家庭医同士、家庭医と家庭医療に関心のあるコメディカルのみならず医療系学生さんが集い、参加者となり、あるいは講師となり、さまざまなテーマやスタンスで家庭医療を語り、交流を深める関西家庭医療フォーラムを今年も開催しました。今年のテーマは「家庭医療の多様性」。特に都会の家庭医療で考えなければならない外国人診療、薬物依存、健康格差への対応や、家庭医が押さえておくべき市販薬・OTCなど、大学や研修機関ではなかなか聞くことが難しいテーマを取り上げました。

台風が当日未明に通過するという悪天候にも関わらず、多くの皆様が御参加くださいました。外国人診療のセッションではベテランの先生方も学生に戻ったように全員で参加され、「健康格差」「社会的処方」「やさしい日本語」など昔から言われている概念をより洗練された形で学び、薬物依存や市販薬・OTCなど実は身近にあったものの詳しく知らなかったことに目から鱗が落ちた会となりました。

また今年の特徴は医学生、薬学部生と若い皆様も御参加くださったこと、そして午後のセッションの講師、座長が全員女性となり、女性の参加者に参加しやすかったと好評だったことが挙げられます。今後、老若男女すべてのみなさまに、より参加していただきやすい会となるように努めてまいりたいと思っております。

[案内] ポートフォリオ発表会 2019年2月24日(日)

今年度は2月24日に大阪医科大学において実施致します！方々より、近畿ブロックではポートフォリオの技量が年々向上している、と伺っております。嘘かまことか、専攻医が悩みながら見出した学びの結晶を是非お確かめくださいませ。実際に添削を受けてみたいというレジデント、そもそもポートフォリオがどんなものか見たいという先生方も大歓迎です。なお、特別講演では臨床研究をテーマに京都大学医療疫学分野青木拓也先生にご講演頂く予定です。

[案内] ポートフォリオ合宿 2019年6月15(土)~16日(日)

2019年6月15日(土)午後~16日(日)午前に開催します。今回から場所が変更となり、琵琶湖のほとりの滋賀県高島市・白浜荘で行います。1年目専攻医のオリエンテーションも行います。2年目以上の専攻医も学んで頂けるようなレクチャーも行い、夜はBBQとシネメデュケーションで交流しながら勉強しましょう。2日目には実際に指導も行います。専攻医の先生方、ご家族揃ってお越し下さい。

[支部からのご連絡] ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)
→詳細は、上記ホームページをご参照願います。

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県)に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・ **支部長** : 雨森正記
- ・ **副支部長** : 戸田和夫、外山学、朝倉健太郎
- ・ **幹事** : 鈴木富雄、石丸裕康、足立光平、一瀬直日、大島民旗、岡山雅信、木戸友幸
関 透、高木幸夫、武田以知郎、西尾健治、畑伸弘、羽野卓三
松井善典、森村美奈、吉本清己、中山明子、三澤美和、山脇正永、梶原信之
- ・ **監事** : 水野融、梶山泰男
- ・ **顧問** : 空地顕一、松村理司、小泉俊三、大島久明

